

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672700145
法人名	有限会社 ひまわり苑
事業所名	グループホーム ひまわり
所在地	鹿児島県南九州市川辺町上山田4239番地5 (電話) 0993-58-9038
自己評価作成日	平成27年3月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・近所の入居者様のご家族の畑があり、散歩がてら野菜の収穫ができる。敷地内の畑からも、無農薬野菜が取れる。豊富な野菜と新鮮な魚も使用し、栄養バランスのとれた食事が提供できる。

・極力コミュニケーションを図るために、フロアでみんなの集まる時間帯を長く設け、家庭的な雰囲気を作っている。

・食卓に花を飾り、季節を感じてもらおうようにしている。

・洗濯物たたみや新聞折りの軽作業を、入居者様が自主的に行えるようにいちづけられた。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当ホームは災害対策や地域住民との協力体制が確立している。

・町内会に加入し、地域の行事に参加し、住民の気軽な事業所への立ち寄りや通学時の子どもたちの挨拶など、日常的に事業所と地域の交流が行われている。

・家族や面会者が自由に入出入りし、和室でお茶会もできる家庭的な雰囲気がある。

・利用者が長い人生を歩んできたことを尊重し、家庭の延長のもとで自立した生活が送れるようにゆっくり見守っている。

・正月は、お神酒やおみくじを準備し、皆でお祝いをしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者を尊重した内容の地域とのつながりを大切にした理念になっている。申し送りの時、皆で唱和し、共通認識を深めている。	グループホームの意義と役割、利用者の尊厳と個性を尊重し地域で暮らし続けられる理念を作成している。理念は玄関や居間に掲示し、毎日の申し送りで唱和し常に意識したケアを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小学校の運動会や、太鼓踊りの見学などに出かけ、地域の人と触れ合ったり、近所の方が野菜などを持って訪問して下さり、お茶を一緒に飲んで交流を図っている。回覧板で情報を共有し、災害時の協力をお願いしている。	町内会に加入し、地域の行事へ参加している。散歩や菜園畑に出かけたり、中学生の職場体験学習や小学生・近所の知人の訪問がある。地域住民へのセミナーや認知症の相談なども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	介護についての相談を受けることがあり、認知症のことや介護サービスのことなど話をすることがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>原則として奇数月の第三木曜日を運営推進会議と取り決め、実施している。入居者様の状況や、サービスの実際について報告したり、避難訓練や救急蘇生法を一緒に学び、意見を頂いている。入居者様も交互に1名づつ代表者に参加頂くが、自主的に参加して下さることもあり、2～3名参加されることもある。</p>	<p>避難訓練や救命救急訓練後に会議を開催している。市担当者や住民代表・家族代表・利用者が参加し、行事報告や利用者の状況・外部評価結果報告等をしている。行政からの情報や参加者の意見も出され、運営に反映している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者が運営推進会議に毎回出席してくれたり、メールで文書のやり取りをするようになって、相談しやすく、連携もとりやすくなっている。協力も得られている。</p>	<p>ホームの運営やサービスについて、市の担当者にメールや文書で相談している。介護情報や研修の案内を受けている。運営推進会議への参加で事業所の実情や相談を行い、協力関係ができている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修を実施し、禁止となる行為を理解できるようにし、玄関も日中の施錠はしていない。「緊急やむを得ない場合」もなかったことから、身体拘束は行っていない。</p>	<p>外部研修に積極的に参加し、ミーティングや身体拘束に関する研修を行い、事例検討をして身体拘束についての理解を深めている。日中、玄関の施錠はせずに、利用者や家族は自由に入入りしている。利用者は安心と尊厳のある生活ができるように職員の連携で、身体拘束の無いケアの実践に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修を行い、どのようなことが虐待に当たるのかを再確認している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援事業は実際に利用している入居者様があり、協力体制が取れている。成年後見人制度については、管理者・計画作成担当者は外部研修を受けていて、介護職員にも話をしている。費用も高額になることもあり、どうしても必要なケースもなく活用支援には至っていない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は、事前に契約書等を渡し読んで頂いた上で、説明を行っている。理解納得できたか確認の上、契約や解約の署名捺印を貰っている。改定時は、文書でお知らせし、了承を貰っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置している。外部に第三者委員を定めている。ホームの相談担当者、外部の相談窓口を重要事項説明書に明記、説明してあり、玄関にも掲示している。運営推進会議でも、ご家族様や入居者様の意見を引き出すように努めている。家族の方が面会に来られた際に、近況報告をし、要望をお伺いしている。	運営推進会議や家族会・行事参加時や面会来所時に意見や要望を聞いている。また第三者委員・意見箱等、意見や要望を表せる機会を設けている。利用者とは、レクリエーション・散歩・入浴・食事等、いろいろな場面でコミュニケーションを取り、言動や表情から思いや要望を把握するようにしている。アンケートの実施も検討している。出された意見や要望は運営に活かすようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の申し送りや日常の業務の中で、意見や提案を受けて、その都度解決に向けて取り組んでいる。	代表者や管理者は常に職員と気軽に話し合える環境作りに努め、日頃より気軽に話し合いができています。気づきやアイデアを積極的に聞き運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の状況を把握し、向上心を持てる様なシフトを考える努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画を立ててホーム内で各研修を行うと共に、外部研修に出る機会を確保できるよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入しており、研修や交流会に参加している。疑問がある時は、個々に連絡をとり、意見を聞いたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に、要望や不安なことを聞いて対応するようにしている。居宅のケアマネに事前に情報提供を頂き、性格や、思いを把握するようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に、時間をかけ、聞き取りを行っている。面会時も近況を説明するとともに、家族の不安や、相談を安心して話していただけるよう声かけしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	居宅ケアマネから情報を頂いたり、今までの経緯や現状を聞き、本人や家族の希望を優先しつつ、他のサービス利用も含めて、必要なケアを選択出来る様にしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物たたみや新聞、ちり紙折は、入居者様が自主的に行っている。能力の違いにより、トラブルが発生することもある為、さりげなくフォローしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ゆっくり面会が出来る場面作りに努めている面会の際や電話で本人様の状況や思いを伝え、ご家族様とともに本人様を支えていけるよう努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者の友人・知人や近隣住民の訪問を気軽に受け入れて、馴染みの関係の継続に努めている。ご家族様が付き添えない場合などは、墓参りも支援している。</p>	<p>利用者の行きつけの店や墓参り・自宅訪問・友人との交流・太鼓踊りや小学校の運動会などに、家族の協力を得て参加している。人との関係性が途切れないように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>作業やレクリエーションを通して気持ちを共有し、一緒に暮らしていく仲間であると認識できるように支援に努めている。個人の能力や価値観の差がトラブルを生じることもあり、理解を求めたり、能力差を感じさせないようフォローに努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了しても、必要があれば、相談に乗ったり、経過をフォローしたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中での会話や行動から思いや希望を把握するように努めている。ご家族様にも面会時に本人様に聞いて頂き、情報交換している。	日常の関わりの中での会話や表情から思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は、家族や他の利用者等、職員で話し合いをして、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居宅のケアマネや入院している病院に情報提供をお願いしている。入居時に、家族や本人から情報を収集している。入居後も、会話の中で、どのような生活だったのか聞いて情報把握を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で、観察し、ミーティングの際にすり合わせ、現状を把握しケアに生かしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常的に本人様やスタッフとの意見交換は行われており、ご家族様とも面会の際に意向を伺ったり、意見交換している。受診時に立会い、主治医の意見も把握できている。それらを受けて介護計画を作成している。毎月モニタリングも実施し、現状に合わせたものになるよう努めている。	利用者や家族・職員で話し合いをして、介護計画を作成している。毎月、モニタリングで利用者の状況・変化を話し合っている。3ヶ月毎に見直しを実施し、入退院時などその都度見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の様子やケアの実践等を個人記録に記入し、申し送りもしている。記録もスタッフが自由に見れるようにしている。アセスメントやモニタリング・評価も個人記録を参考にしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別のニーズに合わせて柔軟に支援できるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の小学校との交流や中学生の職場体験学習の受け入れをしている。地域の行事に参加したり、地域の消防団の方にも、協力を依頼している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に入居者や家族が望むかかりつけ医について話し合いを行い決定している。必要があれば家族の受診立会いを求め、協力を頂くと共に、受診結果を報告している。	利用者や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診は職員が同行し普段の様子や変化を伝えている。受診後は、家族に報告し共有を図っている。事業所に看護師がおり健康管理も適切に行っている。協力医療機関のバックアップ体制も整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ホームに看護職員が常勤しており、日常の健康管理、医療的な部分で相談しながら、支援を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時、介護サマリーを提出したり、入院時に立ち会って情報提供したりしている。入院中は、定期的に面会を行い、家族や看護師等から情報を受けて、状況を判断しつつ、早期退院に向けて支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期に対しては、事業所としては対応しない方針で、入居時に説明し、同意を貰っている。</p>	<p>重度化や終末期について、ホームが支援できる方向性を統一した指針が定められている。家族等や主治医・看護師と常に話し合いがされており、方針を共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に研修を行い、マニュアルを作成し、いつでも見れるところに置いてある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署に依頼し、消火避難訓練を行っている。運営推進会議の中で、災害時の具体的な話し合いも行っている。近所の方や地域の消防分団にも、協力をお願いしている。自動通報装置・スプリンクラーも設置している。</p>	<p>消防署の協力を得て年に2回火災避難訓練を行っている。事業所だけの訓練でなく、地域の消防分団・近隣住民の参加を得ながら実施し協力体制を築いている。防災設備や災害時の食糧等の備蓄も完備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入浴や排泄の声かけなど、入居者様が恥ずかしい思いをしないよう、さりげなく行い、利用者様の人格を尊重する言葉かけや、対応を心がけている。</p>	<p>プライバシー保護の勉強会を通し、日々のケアの中で職員の意識向上を図り、人格の尊重や尊厳について理解を深めている。強制や指示・命令的な言葉になっていないか振り返り、常にプライバシー保護のケアを心がけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>意図的に開かれた質問により意見を促したり、選択できる場面を日常生活の中で設けている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>軽作業への参加もむりに参加してもらおうこともなく、レクについても、何をしたいか希望に沿って行うこともある。一人一人のペースに合わせたケアを行っている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>衣服を自分で選んでいただいたり、話をしながら決めたりしている。気温にそぐわない時は、スタッフが助言している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の希望を聞いたり、昔懐かしい郷土料理を献立に取り入れている。野菜の下ごしらえや配膳など、できることは一緒に行い、時には作り方や材料を入居者様に尋ねながら作ったりしている。	菜園で育てた野菜を献立に使用したり、食事の準備や後片付け等、職員と一緒にしている。行事食・外食・お好み焼き会等、食事が楽しみのひとつになっている。釣り船で捕れた魚の差入れなどもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立、食事摂取量を記録し、把握している。水分摂取量の少ない方が多いので、水分の必要性を話したり、病的に可能なら、スポーツ飲料や野菜ジュースなどを摂取して頂いたりし、脱水にならないよう気をつけている。食事量の減った方には、形状を変えたり、好きな物をプラスするなどして摂取量の確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれの状態に応じて、口腔ケアの習慣づけを行っている。夜間は、義歯洗浄の介助を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援に取り組んでいる。排泄の際は、羞恥心を考慮し、席をはずして見守ったりしている。自尊心の高い方には、尿失禁があっても自分で交換できるようにして後片付けをさりげなく行っている。	トイレやポータブルトイレを使用して排泄できるようにしている。尿意のない利用者も時間毎に誘導し、トイレでの排泄に取り組んでいる。本人の意思を大切にしながら、自立支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の摂取や運動、食事に気をつけ、便秘にならないよう注意している。排便記録をチェックし、便秘の方には、医師の指示の下、下剤使用することもあるが、あまり緩くなり過ぎないように、医療と連携し調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者様の希望を優先しながら、体調を見て、ここに合った入浴ができるよう支援している。	入浴日は週2～3回と決まっているが、利用者の希望や身体状況に合わせていつでも入浴できる準備ができている。浴室は手すりが設置され安全な管理ができている。個々に応じた入浴方法を取り入れリラックスできる支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の体調や行動により、休息が取れるように配慮している。不安な様子があれば、一緒に話をしたり、お茶を飲んだりして寄り添い、安心して眠れるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情書をケース記録に綴り、介護職員にも目を通してもらい、変更があれば申し送っている。配剤ケースを作り、入れる時、ホールへ持っていく時、配剤の時確認し、誤薬を防ぐように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	いくつかの軽作業は、道具を準備しておく、入居者が自分たちで作業を始めている。役割意識を持っていると思う。好きなレクリエーションをリクエストしたり、昔ながらの風習を尋ねながら行事を行ったり、一人一人の力に合わせ楽しめるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候や入居者の状態を見て、日常的に散歩に出ている。墓参りに行くこともある。可能な限り支援を行っている。	日常的には近隣の散歩や公園・菜園畑・買い物等へ出かけている。自宅周辺や墓参りなどへ、ドライブしている。年間行事計画を設定し、花見等へ出かけている。利用者のその日の希望により積極的に戸外に出かける支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持っていないと心もとないという方には、スタッフと家族で所持金を把握し持ってもらおうよう、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人様の希望やご家族様の状況により、電話できるよう介助し、子機で居室で話したりなど、ゆっくり話せるように支援している。字が書ける方には、お礼状や年賀状を書くよう勧め、郵送するまで支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎朝掃除し清潔を心がけている。なるべく自然に近い温度調節を行い、庭に季節の花も咲き、五感で季節感を感じられるよう配慮している。</p>	<p>共用空間の居間は窓から自然の風の空気が入り採光や温度・換気に配慮が行き届き、清潔である。花や行事の写真・調度品等、季節感がある。接客の部屋は和室で開放的になっている。利用者は、好みの場所で自由に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室のソファでくつろいだり、気の合った入居者様と思い思いに過ごしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具やお位牌や家族の写真を飾ったりしている。スタッフの思う整理整頓を行うのではなく、本人様の使いやすい配置を気づかっている。</p>	<p>居室はタンスや鏡台・位牌・家族の写真等、利用者が使い慣れた物や馴染みの物を持ち込んでいる。木製のベッドや床が畳で家庭のぬくもりが感じられる。色分けした造花を居室入口に飾り、安心して生活できるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下、トイレ、風呂など手摺がついており、安全になるべく自立した生活ができるようになっている。ベッドの高さも一人一人の筋力や立ち上がり、転落の危険性を考慮し、調整している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない